



坂戸市立坂戸小学校 **笑顔・感動・花いっぱい**
夢道場・坂戸小だより

【学校教育目標】
 ○やさしく (徳)
 ○かしこく (知)
 ○たくましく (体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和3年4月8日
 第1号

新たな令和3年度の幕開け『ご入学・ご進級おめでとうございます』

春の息吹が感じられる美しい季節になりました。この良き時、お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。本日、新1年生109名を加え、明るく元気な「坂小っ子たち682名」で新たな令和3年度をスタートしました。一昨年度末から新型コロナウイルスの影響で憂慮すべき状況下にある中、学校教育目標の具現化を目指しながらも、児童の「心身の健康」と「学びの保障」を大きな二つの柱として、様々な取組を継続して取り組んできました。児童たちも『坂戸小学校・新しい生活の約束』をしっかりと守りながら、自分だけでなく周囲への心配りをしながら生活をすることができました。さらには、保護者・地域の皆様にも安心・安全な学校生活を送るため、毎日の検温をはじめとする健康観察カードへの記録、消毒やトイレ・流し等の清掃ボランティアなど多大なるご理解とご協力をいただきました。お陰様で、安心・安全に配慮しながら教育活動を推進することができました。今年度も、昨年度の実績を踏まえ、しっかりと地に足をつけた、実りある教育活動を展開してまいりますので、今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

本校は、**学校教育目標**(=「坂小っ子の合言葉」)『**○やさしく ○かしこく ○たくましく**』の具現化のため、教育信条「教育は愛と信頼」と「厳而慈」、教育理念「全ては子供たちのために(第一義「子供ありき」)」を根底に据え、「丁寧さ」・「信頼関係」・「組織力」をさらに高め、『**笑顔、感動、花いっぱいの夢道場・坂戸小**』を目指して教育活動を推進してまいります。

【**笑顔 感動 花いっぱいの夢道場・坂戸小**】具体的には、①【**笑顔**】子供たちの「居がい・行(生き)がい・やりがい」を感じる教育活動を展開し、「笑顔」あふれる学校づくりを推進します。/②【**感動**】学校はもとより、ご家庭・地域と連携し、様々な「ふれあい」や「感動体験」を通して、子供たちの健やかな成長と人格形成を育む教育を推進します。/③【**花**】「花いっぱい」の潤いのある学び舎に象徴されるように、子供たち一人一人の「世界に一つだけの花」を咲かせる教育活動を推進します。/④【**夢**】子供たちの人格形成の原動力となる「夢(志)」を育み、「夢」に向かって努力し続ける「立志の教育」を推進します。/⑤【**道場**】子供たちの「生き抜く力」を育むため、「凡事徹底」と「学び合い」を基盤に、集団生活の中で認め、励まし合い、互いに切磋琢磨することにより、夢(志)に向かって努力し、自らの幸せを追い求め、社会に出て「自立・協働・貢献」できる人材(人財)の育成を推進します。/本校は、学校・家庭・地域が一つになって、子供たちの健全な育成を支援していくサポートチーム、『**チーム坂戸小**』を掲げています。今後も学校・家庭・地域のふれあい・連携・協働を大切にし、子供たちの「**豊かな心(やさしく)**」・「**確かな学力(かしこく)**」・「**健康・体力(たくましく)**」の育成に努め、誇り高く「**生き抜く力**」を育ててまいります。

【**伝統の継承と新たな挑戦**】明治6年開校以来、明治・大正・昭和・平成、そして令和の時代と148年目を迎える本校の長き歴史と良き伝統を継承しつつ、新時代に求められる教育にこの坂戸小学校をさらに活気と潤い溢れ、充実した教育活動が展開できるよう邁進して参ります。今年度も変わらぬご支援・ご協力を何卒お願ひいたします。

【**目指す学校像**】 学校教育目標(「やさしく・かしこく・たくましく」)の具現化を目指し、家庭・地域と共に子供たちの誇り高く『**生き抜く力**』を育む学校

★『**笑顔、感動、花いっぱいの夢道場・坂戸小**』 【**チーム坂戸小**】

【**坂戸小「3つの約束」(あいさつ・整理整頓・時間を守る)⇒【凡事徹底】**

「**凡事徹底**」とは、「誰でもできることを、誰にもできないくらい続けること」。本校では、「時を守り、場を清め、礼を正す」を柱に、**凡事徹底**を根幹として指導を行っています。

○【**時を守り**】時間を守ること。それは、相手を尊重すること、それにより自分が信用を積み重ねることにつながる。 ○【**場を清め**】掃除をすること。掃除をすることの意味は5Kで表され、「気づく人になれる」、「心を磨く」、「謙虚になれる」、「感動の心を育む」、「感謝の心が芽生える」につながる。 ○【**礼を正す**】挨拶、返事をする。挨拶の意味は「心を開いて相手に迫る」。挨拶は人より先に、誰にあっても、相手が気持ちよくなる挨拶をする。そして、呼ばれたら「ハイ!」。気持ちの良い挨拶と返事は、人間関係を良くする。 ~「教育の不易と流行」をしっかりと見極めつつ、いつの時代になろうと変わらぬこの伝統美を大切に、ご家庭と地域のご支援・ご協力をいただき、一緒に育ててまいりたいと思ひます。~

【学校経営方針(職員行動指針)】 キーワード: **丁寧さ** **信頼関係** **組織力**
 明るく 元気に 爽やかに 全ての対応を親身(親の身)になって丁寧に

【本校を去られた先生方】ありがとうございました

24名の教職員が、本校を去られました。大変お世話になりました。今後のご健勝とご活躍をお祈りいたします。(敬称略)

職名	氏名	転出先等	職名	氏名	転出先等

【本校に来られた先生方】よろしくおねがいします

本年度新たに15名の教職員がお世話になります。どうぞよろしくお願ひいたします。

職名	氏名	転入元等	職名	氏名	転入元等

【準備登校での6年生の活躍の様子】



【校長室より】新たな令和3年度の幕開けにあたり

入学式・始業の日に向け、新6年生が準備登校で教室整備や校舎内外の清掃、式場準備を一生懸命に行ってくれた。新たな最上級生リーダーとしての姿は本当に頼もしく立派だった。/どの学年の児童たちも、一回り成長し活躍する姿、キラキラ輝かせた瞳、たくさんの笑顔に出会えるのが今から楽しみだ。「教える」の語源は「愛(いつく)しむ」。得手不得手は誰にもあり、当然のことながら子供は失敗もするし、対人関係も経験の中から学んでいく。だからこそ絶対に子供を見捨てたりはしない。子供たちを、認め、励まし、良さを最大限まで伸ばしていくことこそが教育。「愛と信頼」と「厳而慈」。新たな年度の幕開けに心に刻む。